

| | | | |
|---------|----------|----------|-------------|
| 生命倫理 | 1年・前期 | 1単位 | 非常勤講師 一戸 真子 |
| 科目カテゴリー | 看護の対象の理解 | 科目ナンバリング | 32110291 |

1. 授業のねらい・概要

生命倫理（バイオエシックス）とはどのようなことか、歴史の変遷も含め講義する。医療の現場においては、人間の生命に関し、どのように考え、対処するべきかについて困難を極める場面に遭遇することが予測される中で、医療人としての基本的な考え方について学修し、生命倫理の個別問題についても理解を深められるよう講義する。

2. 学修の到達目標

1. 生命倫理（バイオエシックス）の考え方について理解できる。
2. 生命の尊厳、意思決定の重要性について理解できる。
3. 具体的な生命倫理問題について説明できる。
4. 医療者－患者関係における信頼関係の重要性について理解できる。
5. 医療人として個々の生命倫理問題に関し自分なりの見解をもつことができる。

3. 授業の進め方

できるだけ具体的に理解を深められるよう、事例を豊富に用いながら進める。

4. 授業計画（講義）

1. 生命倫理（バイオエシックス）とは
2. 生命倫理（バイオエシックス）の起源・歴史
3. 生命倫理（バイオエシックス）に関する国際的潮流
4. パターナリズムと自己決定
5. 「生」に関するバイオエシックス
6. 「死」に関するバイオエシックス
7. 先端医療技術とバイオエシックス
8. 臨床倫理

5. 成績評価の方法・基準

レポート 30%，定期試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：村松聡他編『教養としての生命倫理』，丸善出版，2016
参考文献：必要に応じて適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

ケーススタディを行うので、事前の課題に対する予習および、解説後に理解を深めるための復習の確保が必要である。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

人間が集団生活を送る上で倫理はとても重要な考え方であり、特に生命そのものを扱うヘルスケア分野においては最も重要視されなければならないことを理解して欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レポート・試験実施内容については、提出後に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、病院評価における実務経験を活かして指導する。